

全方位型アセスメントを用いて援助困難ケースの解決方法を探る



開催要項

1 目的

少子高齢化や世帯の単身化による家族機能の低下、地域における孤独・孤立、経済的困窮や頻発する災害に関わる生活課題が深刻化・複雑化し、顕在化するケースが増えてきています。こうした課題に対応するうえで、包括的・重層的な支援体制づくりや多職種・多機関の連携、コミュニティソーシャルワークの実践がますます求められています。

本研究会では、暮らしにまつわる福祉課題の解決に取り組むソーシャルワーカーを対象に、全方位型アセスメント（※）手法を学び、その手法を用いた事例検討を通して困難事例と言われるケースを解きほぐし方について学びます。

※全方位型アセスメントとは・・・

本人の主観的な視点から臨床像を描き、そのうえに専門職としての客観的な視点で問題を把握し、問題の構造を描いて、主観的ニーズと客観的問題を区別しすり合わせ、個別化したニーズを明らかにするアセスメントであり、全方位型支援の前提となるもの。
(伊藤健次・土屋幸己・竹端寛著『「困難事例」を解きほぐす』現代書館より)

2 主催 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

3 共催 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会

4 日時 令和8年8月～11月（月1回の定期開催）

5 会場 1回目・2回目 福井県社会福祉センター 4階 第1・2研修室
3回目・4回目 Zoomによるオンライン

6 対象 市町社協・行政、社会福祉施設・事業所、地域包括支援センター、民生委員児童委員、重層的支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業の職員、その他対人援助に携わる者
50名程度

7 内容 集合形式での講義・事例検討およびオンラインでの事例検討

日時	時間	開催方法	内容
8月24日(月)	10:00～16:30	集合	講義「全方位型アセスメント手法の理解」
9月28日(月)	10:00～16:30	集合	講義「全方位型アセスメント手法を現場で活かす」 事例検討「クライアントが高齢者の事例」
10月19日(月)	13:30～16:00	Web	事例検討「クライアントが児童の事例」
11月20日(金)	13:30～16:00	Web	事例検討「クライアントが障がい者の事例」

8 参加費 無料

9 申込方法 令和8年8月14日（金）までに、右記の二次元コードよりお申し込みください。

※Google フォームからは、複数名お申し込みができません。
お手数ですが、お一人ずつお申し込みください。



10 講師 山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 伊藤 健次 氏

<講師略歴>

【経歴】 日本社会事業大学卒業後、介護福祉士・社会福祉士として特別養護老人ホーム勤務し、日本社会事業大学専門職大学院を経て、山梨県立大学勤務し2024年から同大学教授。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修了(社会福祉学修士)。

【専門】 事例を用いたグループスーパービジョン、地域ケア会議における個別事例検討

【社会活動】 厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」構成員

文部科学省「専修学校における先端技術利活用実証研究:VRやARなどの先端技術を利活用した現場実践能力の高い専門的対人援助職員の効果的な養成プログラム開発に関する実証研究事業」運営企画委員

ほか、介護福祉士国家試験実技試験委員、山梨県内自治体の地域包括ケアアドバイザー等

11 個人情報 申込に記載された個人情報については、本会プライバシーポリシー、個人情報の取扱い保護規程に基づき適正に取り扱います。

12 その他 全日程の受講が望ましいですが、希望する回のみ受講も受け付けます。

13 申込み・問合せ先

福井県社会福祉協議会 地域福祉課 (紺井)

〒910-8516 福井市光陽2-3-22

TEL : (0776) 24-4987 FAX : (0776) 24-0041 E-mail : siawase@f-shakyo.or.jp